

# 京都大学構内遺跡調査研究年報

2003年度

京都大学埋蔵文化財研究センター

## 序

本報告書は2003年度に埋蔵文化財研究センターがおこなった、京都大学構内に残る遺跡の発掘調査の成果をまとめたものである。京都盆地の一角を占めるにすぎない吉田キャンパスにも、先史時代から近世に至る長い歴史を刻んだ遺跡が累積していることが明らかになっている。これらの調査の成果を報告するにあたっては、できるだけ精緻な分析を目指して努力を重ね、過去の調査成果にあらたな資料と考察を加えながら、歴史の復元を試みている。

大学はその地域の文化財の研究や活用に、先導的な役割を果たすことが求められており、埋蔵文化財研究センターがおこなってきた、遺跡の調査による研究の蓄積も年を追って前進し、その範となるような先駆的実験を試みている。この点は総合大学としての利点を生かして、学内の各研究科および研究所などから協力を得て、学際的な研究を進めることができ、大きな成果を得ることができつつある。この報告もそのような検討の一端が反映されていると考えている。

第Ⅰ部では、医学研究科の学友会館と総合研究棟の建設、および農学研究科の総合研究棟の建設にともなう発掘調査の成果とその考察をまとめたものであり、また第Ⅱ部はこれらの調査で残された問題の検討と、古代の歴史資料の文献学的な考察を加えたものである。ご高覧いただきご批判をお願いしたい。

おわりに、これらの調査を進めるにあたって、学内、学外の関係者および調査機関から多くのご指導ご助言をいただいた。とりわけ、発掘を実施するにあたってご協力を賜った、施設・環境部、医学研究科、農学研究科の関係各位には、ここに厚くお礼申し上げる次第である。

2008年3月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

上原真人

## 例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で2003年4月1日から2004年3月31日までに発掘、整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学埋蔵文化財研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$   
 $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$   $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：S E，土坑：S Kのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。  
Ⅰ：京都大学医学部構内A R 19区の発掘調査  
Ⅱ：京都大学北部構内B F 32区の発掘調査  
Ⅲ：京都大学医学部構内A P 18区の発掘調査  
（例 Ⅰ 1：京都大学医学部構内A R 19区出土遺物1番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のものは、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影は、それぞれ報告者が担当した。
- 10 編集は、伊藤淳史が担当し、清水芳裕、千葉豊、富井眞、笹川尚紀、磯谷敦子、北尾敬子、柴垣理恵子が協力した。

目 次

第 I 部 京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 2003年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1 調査の経過	1
2 調査の成果	1
第 2 章 京都大学医学部構内 A R 19 区の発掘調査	3
1 調査の概要	3
2 層 位	4
3 先史時代の遺物	5
4 古代・中世の遺跡	7
5 近世・近代の遺跡	31
6 小 結	49
第 3 章 京都大学北部構内 B F 32 区の発掘調査	53
1 調査の概要	53
2 層 位	53
3 遺 構	58
4 遺 物	65
5 小 結	94
第 4 章 京都大学医学部構内 A P 18 区の発掘調査	99
1 調査の概要	99
2 層 位	100
3 古代以前の遺跡	103
4 中世の遺跡	104

5 近世の遺跡	162
6 小 結	168
参 考 文 献	171
京都大学構内遺跡調査要項	175
報 告 書 抄 録	183

## 第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要XⅧ

### 土石流は初期農耕の地をどう通り過ぎたか

—京都市北白川追分町遺跡の白川弥生土石流の堆積物調査—

1 はじめに	187
2 調査の背景と掘削の方法	188
3 考古学的資料	191
4 土石流とその直前の状況	195
5 白川土石流の性格	200
6 おわりに	204

### 「大猪甘人面」に関する覚書

1 はじめに	209
2 先行研究の概観	209
3 神依祭における人面	212
4 賀茂祭における「猪影」	214
5 おわりに	219

図 版	巻末
-----	----

## 図 版 目 次

- 図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
- 図版 2 京都大学医学部構内 A R 19 区
- 1 調査区全景（南から）
  - 2 道路 S F 2（北から）
  - 3 道路 S F 1（東から）
- 図版 3 京都大学医学部構内 A R 19 区
- 1 井戸 S E 8（南から）
  - 2 井戸 S E 6（東から）
  - 3 井戸 S E 1（北西から）
  - 4 井戸 S E 1 細部（西から）
  - 5 井戸 S E 5（東から）
  - 6 井戸 S E 2（南西から）
- 図版 4 京都大学医学部構内 A R 19 区
- 1 集石 S X 3（東から）
  - 2 集石 S X 4（北東から）
  - 3 集石 S X 5（北から）
  - 4 集石 S X 6（北から）
  - 5 土坑 S K 10（北から）
  - 6 溝 S D 4（北から）
- 図版 5 京都大学医学部構内 A R 19 区
- 1 土取穴 S X 1（北から）
  - 2 土取穴 S X 1 遺物出土状況（北から）
  - 3 水路 S D 2（西から）
- 図版 6 京都大学医学部構内 A R 19 区
- 1 縄文土器
  - 2 縄文土器，弥生土器
- 図版 7 京都大学医学部構内 A R 19 区
- S E 7 出土遺物，S E 8 出土遺物，S K 19 出土遺物，S K 10 出土遺物
- 図版 8 京都大学医学部構内 A R 19 区
- 1 S X 1 出土陶磁器，銘・刻印集成
  - 2 S X 2 出土遺物
- 図版 9 京都大学北部構内 B F 32 区
- 1 中世遺構掘削後の調査区全景（西から）
  - 2 洪水砂層上面の調査区全景（西から）
- 図版 10 京都大学北部構内 B F 32 区
- 1 暗黒褐色砂質土 I 上面（北西から）
  - 2 暗黒褐色砂質土 II 上面（北西から）

図版11 京都大学北部構内B F 32区

- 1 建物跡S H 1 (北西から)
- 2 焼土S X 3と周辺のピット (北から)
- 3 土器溜S X 4 (西から)
- 4 土坑S K 8 (東から)
- 5 土坑S K 15 (南東から)
- 6 土坑S K 35 (東から)

図版12 京都大学北部構内B F 32区

- 1 南北畔土層断面 (西から)
- 2 暗黒褐色砂質土I IIのえぐれ (北東から)
- 3 近世遺構掘削後の全景 (西から)
- 4 野壺S E 1 (南から)
- 5 北壁の墳砂 (南から)
- 6 調査区東辺中央付近の土石流堆積 (北東から)

図版13 京都大学北部構内B F 32区

- 1 S K 4出土土器
- 2 S K 15出土土器
- 3 S K 16出土土器

図版14 京都大学北部構内B F 32区

- 1 S X 3出土土器
- 2 S X 3と関連ピット出土土器

図版15 京都大学北部構内B F 32区

- 1 S X 4出土土器(1)
- 2 S X 4出土土器(2)

図版16 京都大学北部構内B F 32区

- 1 S X 2出土土器(1)
- 2 S X 2出土土器(2)

図版17 京都大学北部構内B F 32区

- 1 S K 8出土土器(1)
- 2 S K 8出土土器(2)

図版18 京都大学北部構内B F 32区

- 1 S K 35出土土器(1)
- 2 S K 35出土土器(2)

図版19 京都大学北部構内B F 32区

- 1 S K 36出土土器と遺構外出土の縄文土器
- 2 遺構外出土の縄文土器(1)

図版20 京都大学北部構内B F 32区

- 1 遺構外出土の縄文土器(2)
- 2 S K 12・14出土土器と遺構外出土の縄文土器・耳栓

図版21 京都大学医学部構内A P 18区

- 1 表土除去後調査区全景 (東から)
- 2 集石S X 1 (西から)
- 3 集石S X 1 (東から)

図版22 京都大学医学部構内A P 18区

調査区全景オルソ画像

図版23 京都大学医学部構内A P 18区

- 1 調査区西北部路面S F 1 最上面検出状況（西から）
- 2 調査区中央中世Ⅲ・Ⅳ期遺構全景（南から）
- 3 集石S X 2～10・路面S F 1 検出状況（東から）
- 4 集石S X 14検出状況（西から）
- 5 調査区西北部中世Ⅰ・Ⅱ期遺構全景（北西から）
- 6 集石S X 28（西から）

図版24 京都大学医学部構内A P 18区

- 1 瓦溜S X 12検出状況（南から）
- 2 土器溜S X 12検出状況（南から）
- 3 井戸S E 53断面（西から）
- 4 井戸S E 53最下部（南から）
- 5 井戸S E 54（北から）
- 6 井戸S E 55（北から）

図版25 京都大学医学部構内A P 18区

- 1 井戸S E 59（東から）
- 2 井戸S E 61（西から）
- 3 井戸S E 62（東から）
- 4 井戸S E 63（西から）
- 5 溝S D 53上層瓦出土状況（北から）
- 6 近世井戸S E 2（南から）

図版26 京都大学医学部構内A P 18区

S P 128出土遺物、S K 13出土遺物、S K 14出土遺物、S K 15出土遺物、  
S K 19出土遺物、S K 7 出土遺物

図版27 京都大学医学部構内A P 18区

S K 27出土遺物、S X 31出土遺物、茶褐色土2 出土遺物、  
黄色粘土出土遺物、砂礫層上面出土遺物、S E 1 出土遺物

図版28 京都大学医学部構内A P 18区

S E 53水溜外枠使用瓦

図版29 京都大学医学部構内A P 18区

S D 53出土瓦(1)

図版30 京都大学医学部構内A P 18区

S D 53出土瓦(2)

# 挿 図 目 次

<b>医学部構内A R19区の発掘調査</b>	
図1	調査区西壁の層位……………4
図2	先史時代の遺物……………6
図3	中世の遺構……………8
図4	井戸SE1・SE2……………9
図5	土坑SK10……………10
図6	SK21, SE7出土遺物……………12
図7	SE8出土遺物……………13
図8	SE6出土遺物(1)……………14
図9	SE6出土遺物(2)……………15
図10	SE1出土遺物……………16
図11	SE5出土遺物……………17
図12	SX3出土遺物……………18
図13	SK24出土遺物……………19
図14	SK4出土遺物……………21
図15	SX4, SX6出土遺物……………22
図16	SK13, SK16, SK18出土遺物 ……………23
図17	SK20, SK19(1), SK6, SK10出土遺物……………25
図18	SK19出土遺物(2)……………26
図19	SK15, SE2出土遺物……………27
図20	SK1出土遺物……………28
図21	SF1層位……………29
図22	SF2, SF1路盤, SF1上層, SD4出土遺物……………30
図23	近世の遺構……………32
図24	SX1出土遺物(1)……………33
図25	SX1出土遺物(2)……………35
図26	SX1出土遺物(3)……………37
図27	SX1出土遺物(4)……………38
図28	SX1出土遺物(5)……………39
図29	SX1出土遺物(6)……………41
図30	SX1出土遺物(7)……………43
図31	SX1出土遺物(8)……………44
図32	SX1出土遺物(9)……………45
図33	SX1出土遺物(10)……………46
図34	SX1出土遺物(11)……………47
図35	SX1出土遺物(12)……………48
図36	白川道と関連調査地点……………52
<b>北部構内B F32区の発掘調査</b>	
図37	北壁の層位……………54
図38	西壁の層位……………56
図39	南北畔の層位……………57
図40	南壁の層位……………58
図41	洪水層上面の遺構……………59
図42	SH1……………59
図43	SX3・SX4……………60
図44	暗黒褐色砂質土I上面……………61
図45	暗黒褐色砂質土II上面……………62
図46	近世・近代の遺構……………63
図47	西北辺での中世から 近代の遺構群の変遷……………64
図48	SK4出土遺物……………66

図49	S K 15出土遺物	68	図75	調査区西半北壁の層位	102
図50	S K 16出土遺物	69	図76	古代以前の遺物	105
図51	S X 3 出土遺物(1)	71	図77	中世遺構の時期別配置(1)	108
図52	S X 3 出土遺物(2)	72	図78	中世遺構の時期別配置(2)	109
図53	S X 4 出土遺物(1)	73	図79	S D 1・S F 1 付近の層位	110
図54	S X 4 出土遺物(2)	74	図80	S E 55・S E 59・S E 62・S E 63	111
図55	S X 2 出土遺物(1)	75	図81	S E 53・S E 61	112
図56	S X 2 出土遺物(2)	76	図82	S E 54	113
図57	S K 8 出土遺物(1)	77	図83	S K 30・S K 16・S K 13	115
図58	S K 8 出土遺物(2)	78		出土土師器計測結果	
図59	S K 35出土遺物(1)	79	図84	S K 25・S X 18	116
図60	S K 35出土遺物(2)	80		出土土師器計測結果	
図61	S K 35出土遺物(3)	81	図85	S K 7・S K 27	117
図62	S K 8, S K 12, S K 14出土遺物, そのほかの縄文土器(1)	82		出土土器計測結果	
図63	そのほかの縄文土器(2)	83	図86	S K 28・S X 32	118
図64	そのほかの縄文土器(3)	84		出土土師器計測結果	
図65	そのほかの縄文土器と耳栓	85	図87	S D 57出土土器計測結果	119
図66	S D 22, S K 1, S K 2, 砂取穴, 黒褐色土出土遺物	87	図88	S K 12, S K 13下層, S K 13上層出土遺物	121
図67	五輪塔(1)	89	図89	S K 14, S K 15出土遺物	122
図68	五輪塔(2)・墓石(1)	90	図90	S K 16, S K 30, S P 653, S K 17	123
図69	墓石(2)	91		出土遺物	
図70	墓石(3)	92	図91	S K 18, S K 19, S K 21, S K 22, S X 34, S X 36出土遺物	124
図71	墓石(4)	93	図92	S D 55, S D 62, S D 64, S D 81, S D 83, S D 84, S D 85, S E 59, S E 62出土遺物	125
<b>医学部構内A P 18区の発掘調査</b>			図93	S K 24, S X 14, S X 20, S X 24, S X 33, S X 37出土遺物	126
図72	調査地点の位置	99			
図73	調査区東西畔北壁の層位	100			
図74	調査区東壁の層位	101			

図94	S D58下層, S D58上層, S D61, S D68, S D80, S D82, S E56, S E57, S E63, S E64出土遺物 ……………	127	図109	S K 1, S K 2, 中世野壺群検出 時, S E22, S E28, S E38, S E51, S E52出土遺物……	143
図95	S K25出土遺物……………	128	図110	暗黄灰色シルト質土, 暗灰褐色土出土遺物……………	145
図96	S X 2, S X 3, S X 4, S X 5, S X 6, S X10出土遺物……	129	図111	茶褐色土2出土遺物(1)……	146
図97	S K 7, S K 6出土遺物……	130	図112	黄色粘土出土遺物(1)……	147
図98	S K 8, S K 9, S K11出土遺物 ……………	131	図113	黄色粘土出土遺物(2)……	148
図99	S K27, S K28, S K29出土遺物 ……………	132	図114	茶褐色土2出土遺物(2)……	149
図100	S K31, S K32, S X12, S X15, S X16, S X17出土遺物……	133	図115	滑石製石鍋, 温石……………	150
図101	S X18, S X21, S X22, S X23 出土遺物……………	134	図116	水晶製品……………	151
図102	S X25, S X27出土遺物……	135	図117	S E53水溜外枠使用瓦(1)……	152
図103	S X28, S X29, S X30, S X31, S X32出土遺物……………	136	図118	S E53水溜外枠使用瓦(2)……	153
図104	S D53, S D54, S D56出土遺物 ……………	138	図119	S D53出土瓦(1)……………	154
図105	S D57, S D66, S D67出土遺物 ……………	139	図120	S D53出土瓦(2)……………	155
図106	S D76, S D77, S D78, S D79, S E53, S E54, S E55出土遺物 ……………	140	図121	S D53出土瓦(3)……………	156
図107	S E58, S E60, S E61出土遺物 ……………	141	図122	S D53出土瓦(4)……………	157
図108	S D 1 最下層, S F1, S X 1 出土遺物……………	142	図123	S D53出土瓦(5)……………	158
			図124	S D53出土瓦(6)……………	159
			図125	S X12出土瓦(1)……………	160
			図126	S X12出土瓦(2)……………	161
			図127	近世の遺構……………	162
			図128	井戸 S E 2 ……………	163
			図129	黄灰色土出土遺物……………	165
			図130	S D 1, S E 1 (1), S E 2, S E 3, S E 4, S E 6 出土遺物 ……………	166
			図131	S E 1 出土遺物(2)……………	167
			図132	灰褐色土出土遺物……………	167
			図133	表土出土遺物……………	168

土石流は初期農耕の地を

どう通り過ぎたか

図134 遺跡の位置と調査地点……………	187	図140 5 b層上面の様相……………	197
図135 調査地点の層位……………	190	図141 S D 3……………	199
図136 土石流堆積物の詳細……………	191	図142 本調査区とその周辺における 土石流の堆積のプロセス…	203
図137 歴史時代の遺構……………	192	図143 S D 3と本調査区出土遺物…	207
図138 S D 1 出土土器……………	193	図144 各種遺構や堆積状況の詳細…	208
図139 黄色砂・暗褐色土出土土器…	194		

表 目 次

表 1 中世井戸一覧表……………	110
表 2 京都大学構内のおもな調査…	176
表 3 肉眼観察による 土石流堆積物の層相……………	195

## 第 I 部 2003年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

- 第1章 2003年度京都大学構内遺跡調査の概要
- 第2章 京都大学医学部構内AR19区の発掘調査
- 第3章 京都大学北部構内BF32区の発掘調査
- 第4章 京都大学医学部構内AP18区の発掘調査

## 第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要XⅧ

土石流は初期農耕の地をどう通り過ぎたか

—京都市北白川追分町遺跡の白川弥生土石流の堆積物調査—

富井 眞

「大猪甘人面」に関する覚書

笹川尚紀

2008年3月31日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報  
2003年度

編集 京都大学埋蔵文化財研究センター  
発行 京都市左京区吉田本町  
印刷 三星商事印刷株式会社  
製本 京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300